

TI_2220 : 新しいガスサービスメッセージ140

SelfCookingCenter; iCombi Pro; iCombi
Classic





2022/09/21

テーマ

ガス燃焼システムの損傷防止に役立つ新しいサービスメッセージが以下のソフトウェア・バージョンに取り入れられたことをお知らせします。

- SelfCookingCenter インデックス H & I (2011年9月以降) : SCC-07-00-10.6.34
- iCombi Pro インデックス J (2020年5月以降) : LM100-16.3.28
- iCombi Classic インデックス J (2020年5月以降) : LM200-8.0.0

お客様のメリットの為にも、RATIONAL調理システムのソフトウェア・バージョンを最新のものにアップデートされるようお願いいたします。

解決法／変更：

- SelfCookingCenterソフトウェア : SCC-07-00-10.6.34
- ソフトウェアiCombi Pro : LM100-16.3.28
- ソフトウェアiCombi Classic : LM200-8.0.0

ソフトウェアはRATIONALポータルでご利用いただけます。また、近日RATIONALローダーを通してご提供いたします。

このソフトウェア・アップデートはもちろん、電気式加熱装置搭載のRATIONAL調理システムにインストールすることも可能です。ここには、ソフトウェア・リリースノートに掲載の改善事項も含まれています。

理由：

ホットエアーバーナーの点火がうまくいかない場合、これまで特にエラーメッセージ「ガスリセット」、またはiCombiではサービス32.1が表示されていました。この状態は、ガス供給の不具合や変動、またはガス燃焼システムのコンポーネントの故障など、様々な原因により発生していました。メッセージ「ガスリセット」またはiCombiラインで導入されたサービス32.1は、メッセージ数の制限なく受領することができました。

ガス供給またはガス燃焼システム（ホットエア）での持続的なエラーを確実に排除するために、こうした状態に変更が加えられ、予防措置が講じされました。考えられる不具合と安全上の影響には例として以下が挙げられます。

- 組成が変動するガス供給によって、最適でない燃焼、および燃焼システム部品の損傷が生じる可能性があります
- ガス供給が不十分な場合、着火が遅くなり、大きな着火音がする可能性があります
- コンポーネントの故障が、システムの着火性能に悪影響を及ぼし、他の部品に損傷を引き起こす可能性があります
- また、コンポーネントの故障が調理の仕上がりおよび / またはエネルギー消費に悪影響を与える可能性があります

原因となる不具合を解決しないと、以下に説明するように、今後の調理操作においてユニットがブロックされる場合があります。

作動基準および警告レベル：

ホットエアーバーナーの点火がうまくいかない場合、引き続きこれまでのようなエラーメッセージ（「ガスリセット」、またはiCombiラインで導入されたサービス32.1など）が表示されます。さらに、以下の警告レベル、そして最終的には以下の作動基準に応じてブロック措置が発せられます。

- 基準A：ホットエアーシステムで数回連続して「ガスリセット」が出た
- 基準B：ホットエアーシステムの点火電極で短絡状態が少なくとも60秒続いた

a. 警告レベル1 - サービス140.4

基準Aまたは基準B

サービス140.4は、ガス燃焼システムの故障を示し、故障が続く場合はユニットのブロックを予告し、カスタマーサービスにご連絡するよう指示します。

b. 警告レベル2 - サービス140.4

基準Aまたは基準Bが72時間以内に再び発生。

サービス140.4が、同じ注記とともに再び表示されます。

c. 警告レベル3とブロック - サービス140.8

基準Aまたは基準Bが72時間以内に再び発生。

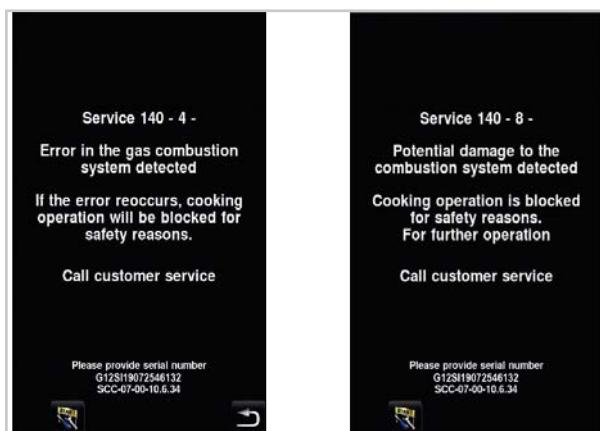
サービス140.8が表示され、ユニットの調理使用がブロックされ、カスタマーサービスに連絡するように指示されます。

注記

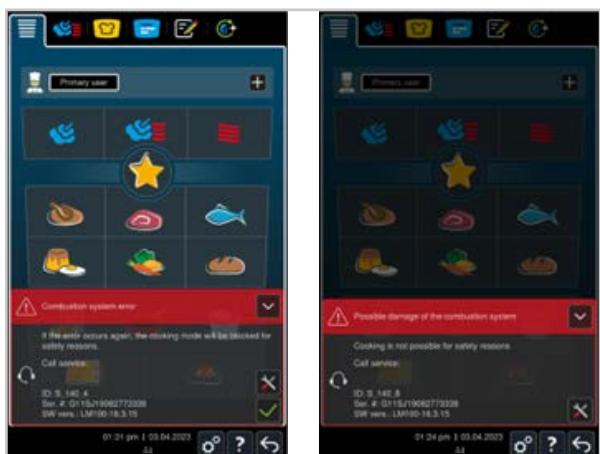
技術的な理由により、作動基準Aの実施の詳細はユニット間で異なります。これは技術情報の末尾に記載されています。

エラーメッセージ：

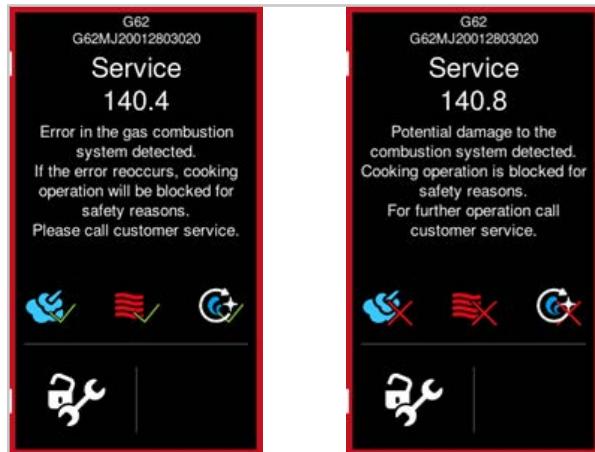
- SelfCookingCenter



- iCombi Pro



- iCombi Classic



トラブルシューティング

サービス140.4または140.8が表示された場合は、次のコンポーネントの損傷を点検し、必要に応じて交換する必要があります。

- 熱交換器
- 点火電極と接地電極
- バーナー
- ガス弁
- ガス排気

サービス140.8は、サービスメニュー内で、サービス技術者によってのみリセットできます。ガス式ユニットでは、以下のパスで必要なボタンがあります。

- SelfCookingCenter

診断 → サービス履歴 → サービス140のリセット (Diagnose → Service Historie → Reset Service 140)



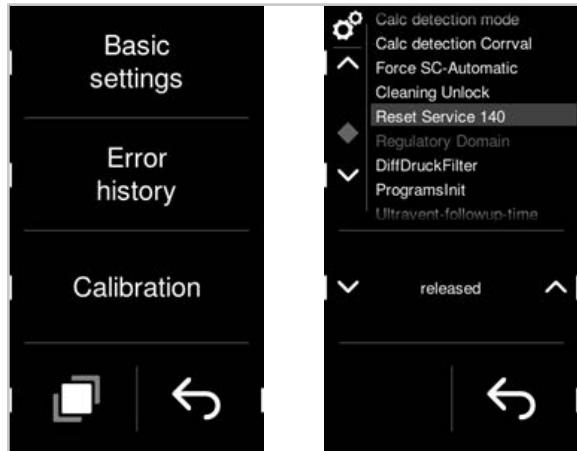
- iCombi Pro

ガス → ガスパラメータ → サービス140のリセット (Gas → Gas Parameters → Reset Service 140)



- iCombi Classic

基本設定 → サービス140のリセット (Basic Settings → Reset Service 140)



ご質問の際は、RATIONALの技術サービスまでご連絡ください。

作動基準Aの実施

作動基準Aは、ガスエラーが合計7回連続して発生したことを検出することを目的としています。これは、自動ガスバーナー装置のメーカーが許容する最大ガスエラー数が32分以内に発生することに相当します。これに加え、ガスエラーは、ホットエアー熱交換器のうちの1台における点火の問題に関連するものである必要があります。

重大なガスエラーとそのエラーコードは次の通りです。

- 17 : ガス弁が開く1秒前に炎電流が測定される (ホットエアー 上)
- 37 : ガス弁が開く1秒前に炎電流が測定される (ホットエアー 下)
- 18 : ガス弁が閉じてから10秒後に炎電流が測定される (ホットエアー 上)
- 38 : ガス弁が閉じてから10秒後に炎電流が測定される (ホットエアー 下)
- 22 : 点火プロセスが5回失敗した (ホットエアー 上)
- 42 : 点火プロセスが5回失敗した (ホットエアー 下)

SelfCookingCenter

- 重大なガスエラーを4回リセット
- サービス33.xにつながり、ここでユニットの再起動が求められる
- 重大なガスエラーを4回リセット

iCombi Pro と iCombi Classic

- 32分以内に重大なガスエラーを7回リセット

つまり、サービス140.8を生成してユニットの稼働をブロックするには、72時間以内に合計で105~120回の点火エラーが発生し、これに関連してすでに出されたサービスメッセージを無視することが必要となります。

修正ログ

この説明書の前バージョンの変更事項

- ガスサービスメッセージ140に一貫して対応するために、タイトルを更新：
 - 「新しいガスサービスメッセージ140」が「新しいガスサービスメッセージ SelfCookingCenter (2011年9月以降)」の代わりとなります
- 「テーマ」の章の更新：
 - iCombi ProおよびiCombi Classicの統合（関連するソフトウェアバージョンを含む）。
- 「解決法／変更」の章の更新：
 - iCombi ProおよびiCombi Classicの統合（関連するソフトウェアバージョンを含む）。
- 「理由」の章の更新：
 - 「作動基準および警告レベル」の節が「今後」の代わりとなり、「エラーメッセージ」が「詳細情報」の代わりとなります。内容がそれにあわせて適合、調整されます。
 - グラフィックが更新されました
 - 「作動基準Aの実施」の統合